



平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年6月12日

上場会社名 株式会社ミサワ

上場取引所 東京証券取引所マザーズ

コード番号 3169

URL <http://www.unico-fan.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 三澤 太

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 鈴木 裕之

TEL (03) 5723-8500

四半期報告書提出予定日 平成24年6月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績（平成24年2月1日～平成24年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	1,323	-	155	-	211	-	113	-
24年1月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 25年1月期第1四半期 110百万円 (-%) 24年1月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年1月期第1四半期	54	97	51	28
24年1月期第1四半期	-	-	-	-

(注) 当社は、第1四半期の業績開示を当連結会計年度より行っているため、平成24年1月期第1四半期の実績及び増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年1月期第1四半期	2,225		795		35.8
24年1月期	2,110		684		32.5

(参考) 自己資本 25年1月期第1四半期 795百万円 24年1月期 684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年1月期	-	-	0.	00	-	-	0.	00
25年1月期	-	-	-	-	-	-	-	-
25年1月期(予想)	-	-	0.	00	-	-	0.	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年1月期の連結業績予想（平成24年2月1日～平成25年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	2,614	15.5	244	3.4	226	0.8	160	54.2	77.	29
通期	5,415	17.2	494	25.9	460	22.5	291	27.6	140.	58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (その他) に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年1月期1Q	2,070,000株	24年1月期	2,070,000株
25年1月期1Q	一株	24年1月期	一株
25年1月期1Q	2,070,000株	24年1月期1Q	1,600,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自動車販売を始めとする個人消費の伸びや復興需要の高まりにより内需が拡大し、内閣府の2012年1月～3月期の国内総生産（GDP）速報値によれば、年率換算プラス4.1%という平成20年7～9月以来の高成長を遂げました（内閣府、平成24年5月17日発表）。しかしながら、欧州の経済危機とそれに伴う円高・株安の進行、夏季の電力供給への懸念等、依然として景気減速の要因は看過できないものとなっております。

当社グループが属する家具・インテリア業界におきましても、円高基調を背景とする仕入原価の低下や新生活を開始する消費者の購買意欲の高まりが追い風となり好調に推移しておりますが、消費者の低価格志向は依然として強く、企業努力が求められております。

このような経営環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は1,323,878千円、営業利益は155,653千円、経常利益は211,248千円、四半期純利益は113,796千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①unico事業

当社グループの中核事業に当たるunico事業においては、新たな事業展開に向けた基盤づくりに取り組みました。

新規商品として、ノスタルジックなデザインが特徴のKURTシリーズや学校で使われていた家具をイメージしたSKOLAシリーズ、ラフな質感の杉無垢材を使用したFUSTAのシェルフ等、スモールスペースにも対応可能なコンパクトタイプの家具を増強いたしました。20代のシングル層にも取り入れやすいコンパクトで比較的リーズナブルな商品展開は、近年、購買層の高年齢化が進んでいたunicoブランドにおいて、本来のターゲットである20代～30代前半の方々に訴求する商品を強化し、今後、立ち上げを予定しているアップブランドとの差別化も視野に入れております。

また、ブライダルシーズンに際し、ナチュラルカラーのオーク材を使用したSIGNEシリーズのキッチン収納やユニセックスなデザインが特徴のAUTEURシリーズのダイニングテーブル等、キッチンアイテムを新たに展開いたしました。オリジナルファブリックにおいても、ヴィンテージエスニックなデザインのLULUシリーズや民族刺繍のようなドビー柄が特徴のNAIMAシリーズにおける寝具類、CONEYシリーズのベビー雑貨等、ブライダルギフトの需要が高まり、総じて売上好調に推移いたしました。

その他の取り組みとしては、認定NPO法人ブリッジフォースマイル（東京都千代田区、理事長 林恵子）の活動「スマイリングプロジェクト」に協賛いたしました。同団体が児童養護施設退所者へ格安の家賃のシェアハウスを提供し自立支援を行うこの活動で、当社グループは家具・雑貨の提供、生活空間のコーディネートを行う形でバックアップを行っております。商品の販売に留まらない「健康で感性豊かなライフスタイルの普及」を経営理念として掲げる当社グループにとって、CSR活動を通じたライフスタイル提案の実現は、新たな一歩と認識しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,289,803千円、セグメント利益は155,924千円となりました。

②food事業

food事業は、Le Bistroが3月に人員体制の不足からランチの営業を一時休止する等の停滞を余儀なくされましたが、人員の増強や新生活シーズン到来により売上は復調傾向にあり、food事業全体の売上としては前年を緩やかに上回る形で推移しております。Le Bistroとunico事業がコラボレーションしたオリジナル食器の売上も好調で、unicoの世界観を相互補完する取り組みも引き続き進めて参ります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は34,074千円、セグメント損失は271千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,225,356千円となり、前連結会計年度末と比較して114,949千円の増加となりました(5.5%増)。

これは主に、売上の増加に伴う売掛金の増加88,951千円、現金及び預金の増加34,215千円によるものです。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,429,768千円となり、前連結会計年度末と比較して4,343千円の増加となりました(0.3%増)。

これは主に、仕入の増加による買掛金の増加54,369千円、人員の増加による賞与引当金の増加25,332千円によるものです。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は795,587千円となり、前連結会計年度末と比較して110,606千円の増加となりました(16.2%増)。

これは主に、利益剰余金の増加113,796千円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年3月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	356,201	390,417
売掛金	206,455	295,407
商品及び製品	594,223	559,905
仕掛品	6,308	9,524
原材料及び貯蔵品	32,253	50,710
繰延税金資産	24,811	24,811
その他	84,680	83,015
貸倒引当金	△749	△1,062
流動資産合計	1,304,186	1,412,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	399,921	382,860
その他(純額)	43,774	69,688
有形固定資産合計	443,696	452,548
無形固定資産		
投資その他の資産	28,154	28,803
繰延税金資産	45,741	45,741
敷金及び保証金	283,666	281,261
その他	4,960	4,269
投資その他の資産合計	334,368	331,272
固定資産合計	806,220	812,624
資産合計	2,110,406	2,225,356
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	106,123	160,492
短期借入金	194,614	182,360
1年内返済予定の長期借入金	315,263	292,289
未払法人税等	143,479	99,163
賞与引当金	25,200	50,532
その他	314,820	351,373
流動負債合計	1,099,501	1,136,212
固定負債		
長期借入金	293,109	243,143
退職給付引当金	6,691	5,483
資産除去債務	24,212	24,280
その他	1,911	20,649
固定負債合計	325,923	293,556
負債合計	1,425,425	1,429,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,932	205,932
資本剰余金	185,932	185,932
利益剰余金	278,042	391,839
株主資本合計	669,906	783,703
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,074	11,884
その他の包括利益累計額合計	15,074	11,884
純資産合計	684,981	795,587
負債純資産合計	2,110,406	2,225,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)
売上高	1,323,878
売上原価	528,712
売上総利益	795,165
販売費及び一般管理費	639,512
営業利益	155,653
営業外収益	
受取利息	30
保険解約返戻金	52,603
その他	6,403
営業外収益合計	59,038
営業外費用	
支払利息	2,489
その他	953
営業外費用合計	3,442
経常利益	211,248
特別損失	
減損損失	1,118
特別損失合計	1,118
税金等調整前四半期純利益	210,130
法人税等	96,334
少数株主損益調整前四半期純利益	113,796
四半期純利益	113,796

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	113,796
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△3,190
その他の包括利益合計	△3,190
四半期包括利益	110,606
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	110,606
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。